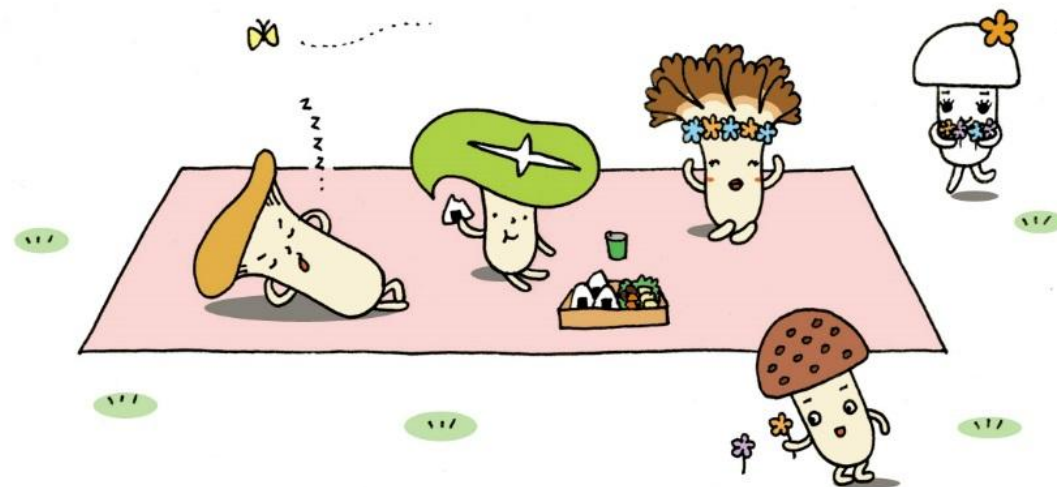


ホクト株式会社

～個人投資家向け説明資料～



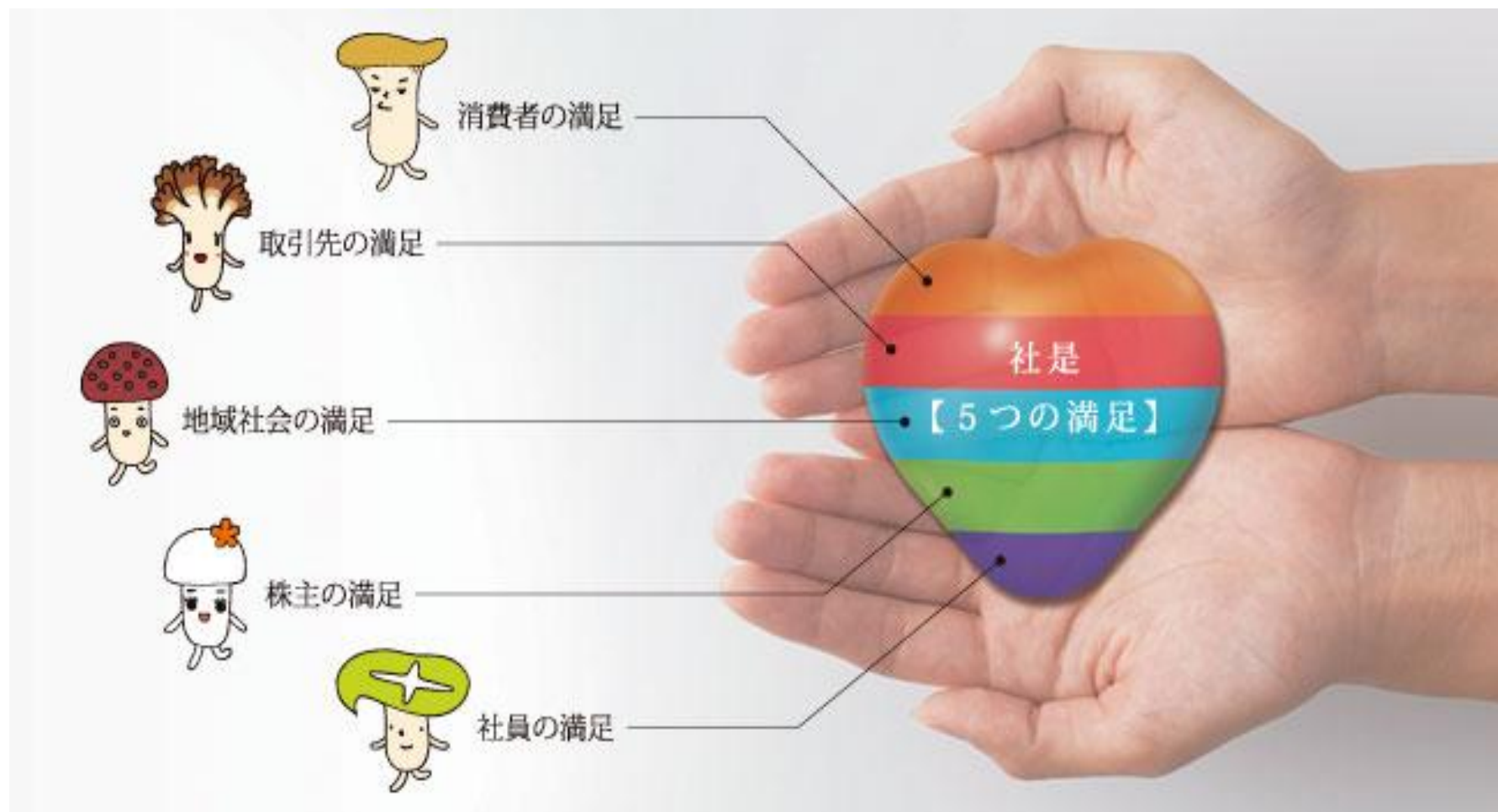
2026年7月4日

1. 会社紹介・事業紹介
2. 2026年3月期決算説明・2027年3月期計画
3. 中期経営計画
4. 株主還元



1. 会社紹介・事業紹介

会 社 名	ホクト株式会社
所 在 地	長野県長野市南堀138-1
代 表 者	代表取締役社長 水野 雅義
設 立	1964年（昭和39年）7月22日
上 場 市 場	東京証券取引所プライム市場（証券コード：1379）
連 結 子 会 社	8社（国内3社、海外5社）
連 結 従 業 員 数	正社員1,352人（2026年3月末現在） （地域限定・準社員・パート：2,734人・・・合計4,086人）
連 結 総 資 産	113,726百万円（2026年3月末現在）
連 結 純 資 産	64,924百万円（2026年3月末現在）
発 行 済 株 式 数	33,359,040株（2026年3月末現在）
時 価 総 額	634億円（2026年3月末日現在）



創業

デラップス商事株式会社を設立
一般包装資材の販売を開始



▲ 経木(きょうぎ)



▲ サミットバック

1968年

きのこ栽培用P.P.(ポリプロピレン)ビンの製造開始



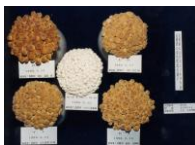
1983年

きのこ総合研究所を設置



1986年

エノキタケ新品種
ホクトM-50開発



1989年

きのこ事業への参入

当社初のきのこ栽培工場である
柳原きのこセンターを設置。
全国20拠点へきのこセンターを展開

1990年

ブナシメジ生産開始

1995年

エリンギ生産開始

1994年

株式会社店頭公開

2001年

マイタケ生産開始

2002年

ブナピー生産開始

2003年

きのこ組誕生
きのこの唄が大ヒット

2006年

アメリカ カリフォルニア州に
ホクトキノコカンパニー設立

2011年

台湾に台湾北斗生技股份
有限公司を設立

2012年

マレーシア クアラルン
プールのHOKTO
MALAYSIA SDN.BHD.
を設立

2013年

株式会社アーデンを
子会社化

2012年

霜降りひらたけ
生産開始

2018年

生どんこ生産開始

2022年

東証プライム市場に移行

売上高
859億円

(億円)

2026年

有限会社舟形マッシュ
ルームを子会社化

1964年 1969年 1974年 1979年 1984年 1989年 1994年 1999年 2004年 2009年 2014年 2019年 2024年



HOKTO ホクト株式会社

きのこの生産・販売、加工品の販売



ホクト産業株式会社
化成品の製造・販売



HOKTO KINOKO COMPANY

北米でのきのこ生産・販売



株式会社アーデン
レトルトパウチ食品の製造



台灣北斗生技股份有限公司

台湾でのきのこ生産・販売

株式会社サン・メディカ

Mushroom Wisdom, Inc,

PT HOKTO INDONESIA MATERIALS



HOKTO MALAYSIA SDN.BHD.

東南アジアでのきのこ生産・販売

日本国内におけるマッシュルーム需要の高まりを踏まえ、業界三番手のマッシュルーム生産会社であり、強固な生産技術を有する有限会社舟形マッシュルームの株式を取得（子会社化）し、商品ラインナップを拡充

所在地	山形県最上郡舟形町長沢 6 8 3 1		
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 長澤大輔		
事業内容	マッシュルーム生産販売 マッシュルーム加工品製造販売 レストラン経営		
資本金	51 百万円		
設立年月日	2001 年 10 月 15 日		
売上高	2023年3月期	1,345百万円	
	2024年3月期	1,269百万円	
	2025年3月期	1,186百万円	

国内きのこ事業

売上高 560億円

レギュラーライン



プレミアムライン



海外きのこ事業

売上高 82億円

アメリカ **HOKTO**
Hokto Kinoko Company



台湾

HOKTO
好菇道



マレーシア

HOKTO
Makes Health Tastier



加工品事業

売上高 80億円

冷凍きのこ



業務用水煮



健康食品



レトルト食品



Arden



化成品事業

売上高 136億円

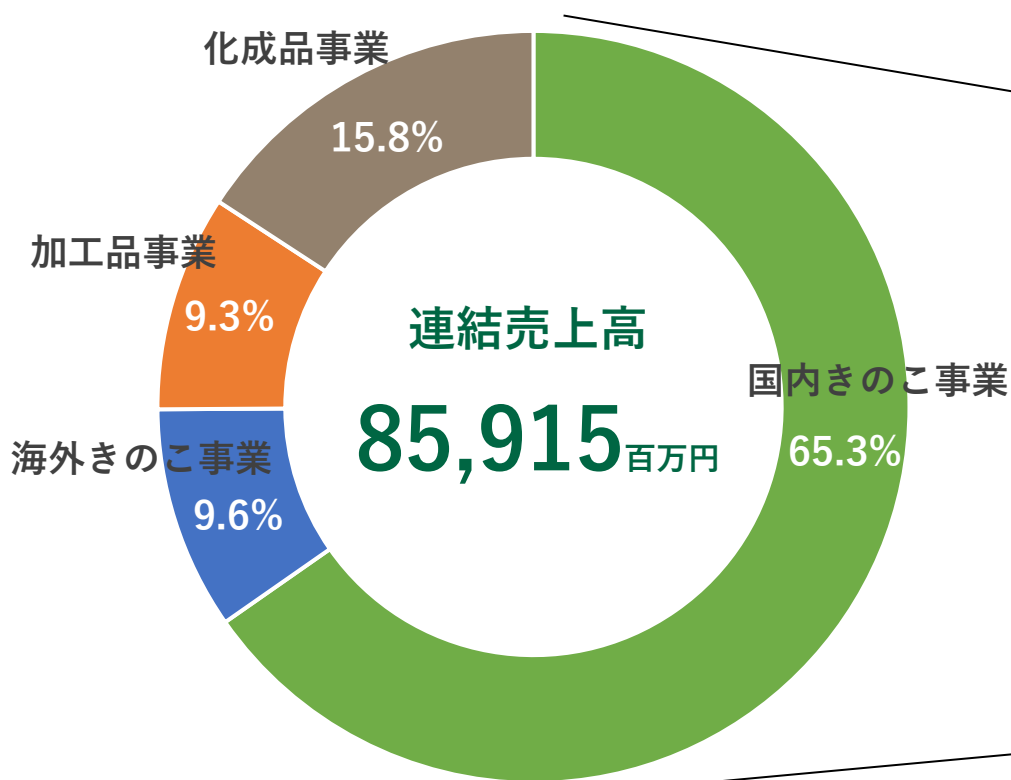
包装資材



農業資材



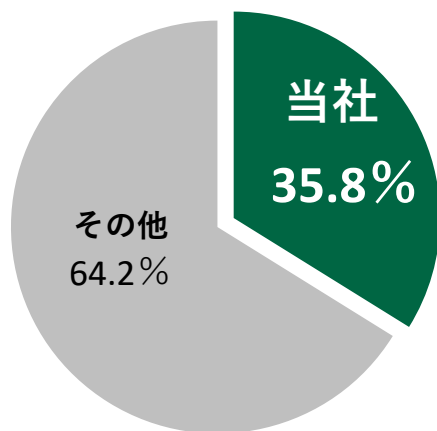
セグメント



きのこ生産量 (連結ベース)

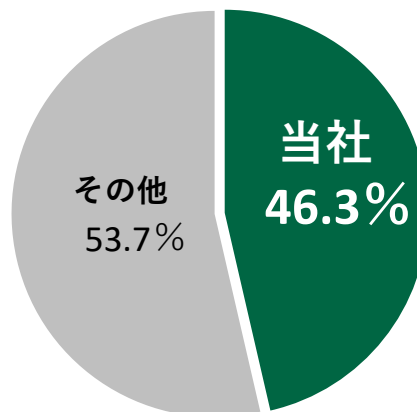


ブナシメジ



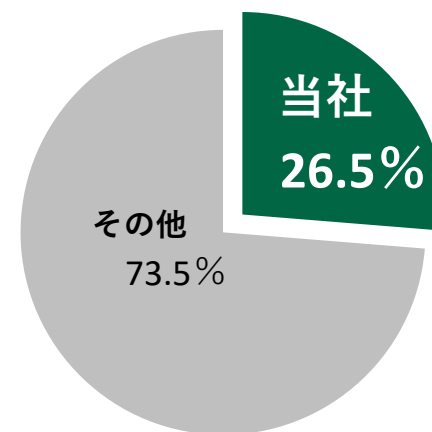
国内総生産量
117,536 t

エリンギ



国内総生産量
34,639 t

マイタケ



国内総生産量
56,609 t

消費地生産により、新鮮なきのこをお届け。



成長のステージは海外へ



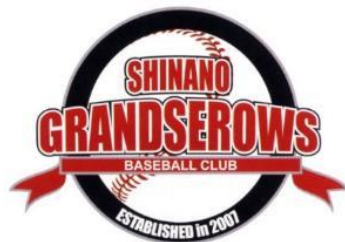
《工場見学と食育活動》



《ネーミングライツ「ホクト文化ホール」》



《地域スポーツチームの後援》



《ホクト生物科学振興財団》





2. 2026年3月期決算説明・2027年3月期計画

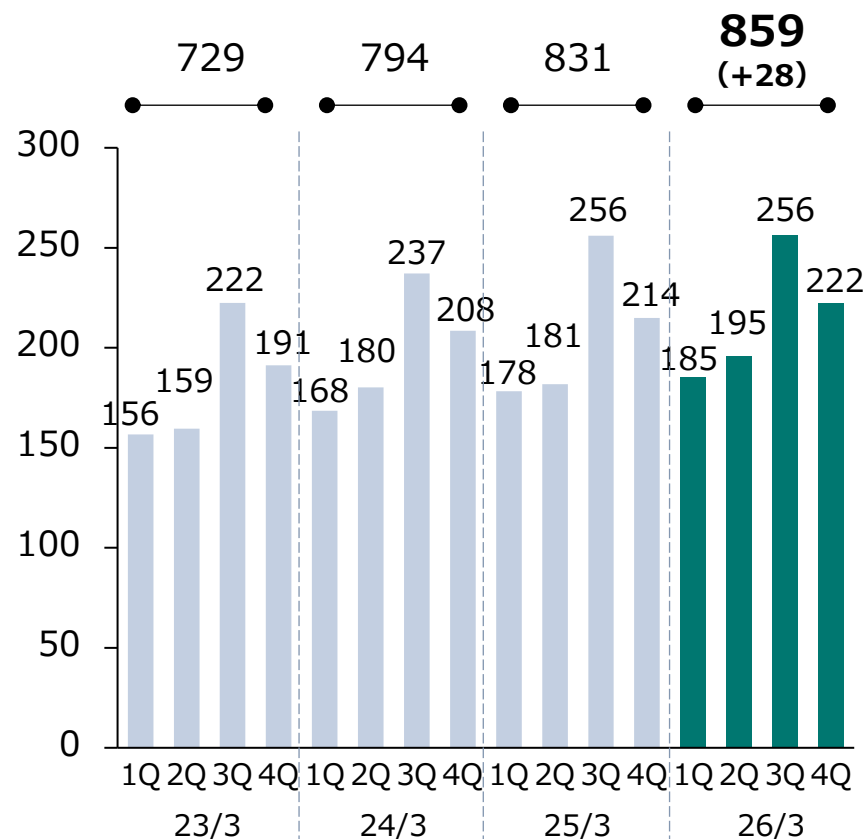
1

**国内において、マーケティング施策等が奏功し
堅調なきのこの価格を維持できたことで、増収増益**

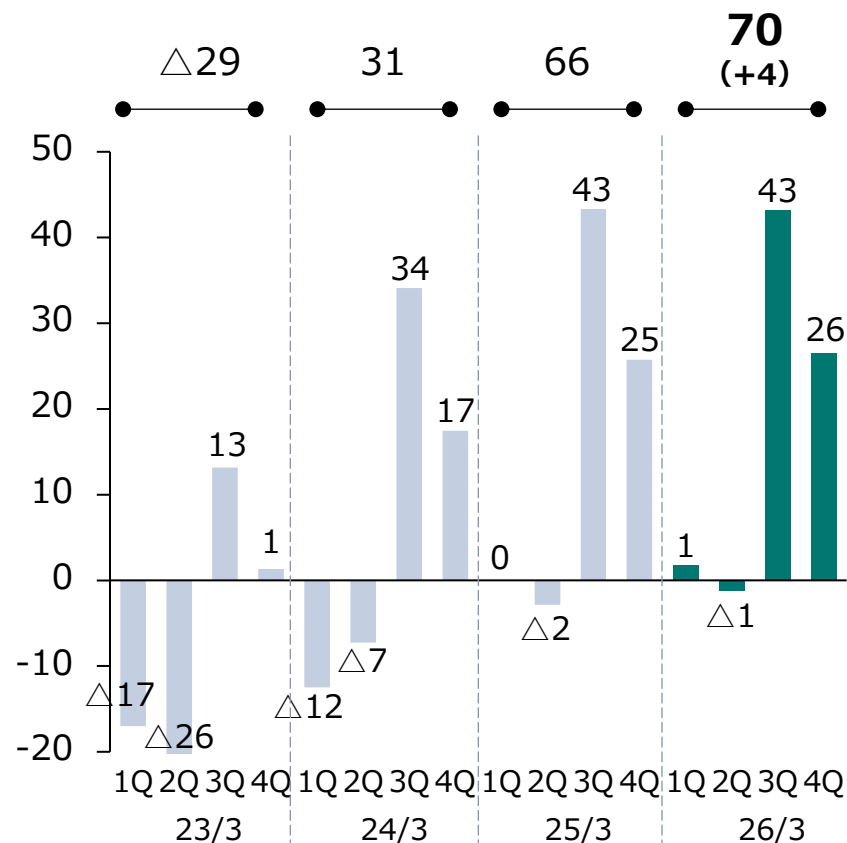
2

株主還元を推進し、年間配当積み増し・株主優待拡充

売上高(億円)



営業利益 (億円)



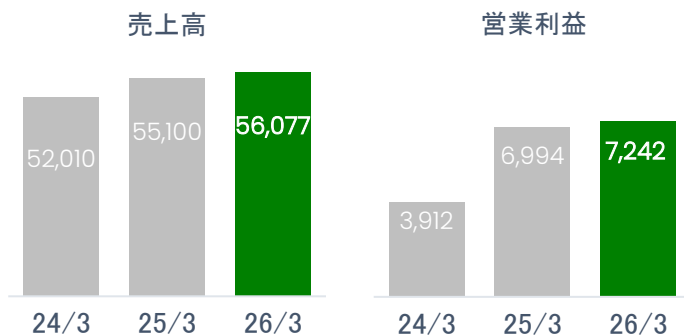
(百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	前期比増減額	前期比増減率
売上高	83,104	85,915	2,810	3.4%
売上総利益	23,760	24,919	1,159	4.9%
売上総利益率	28.6%	29.0%		
販管費	17,132	17,888	756	4.4%
営業利益	6,628	7,031	402	6.1%
営業利益率	8.0%	8.2%		
経常利益	6,953	8,186	1,233	17.7%
経常利益率	8.4%	9.5%		
当期純利益	4,441	7,006	2,565	57.8%
当期純利益率	5.3%	8.2%		
一株当たり利益	140.63円	223.84円		

(単位：百万円)

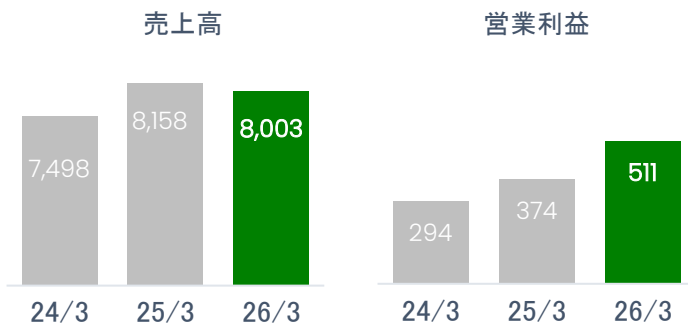
国内きのこ事業

✓ 新規開拓・エリア戦略・マーケティング施策等が奏功しきのこ単価が堅調に推移。エネルギー管理により原価も抑制し**増収増益**



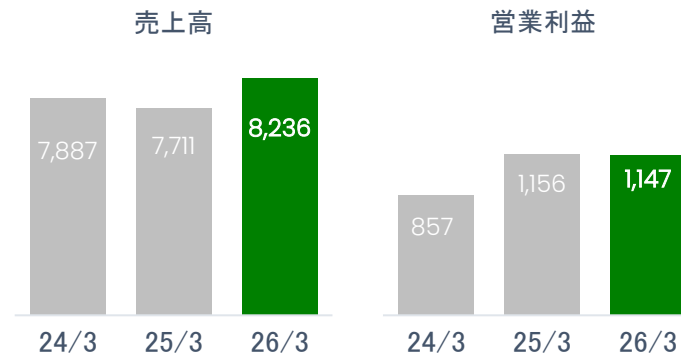
加工品事業

✓ 粗利率の高い商品に注力した結果**減収増益**



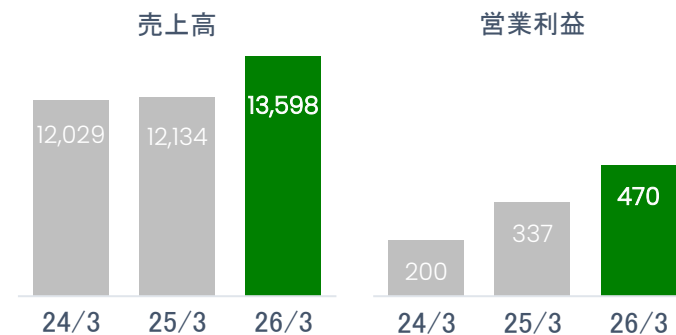
海外きのこ事業

✓ アメリカ・台湾は横ばい、マレーシアは苦戦したものの、為替の影響もあり**増収減益**

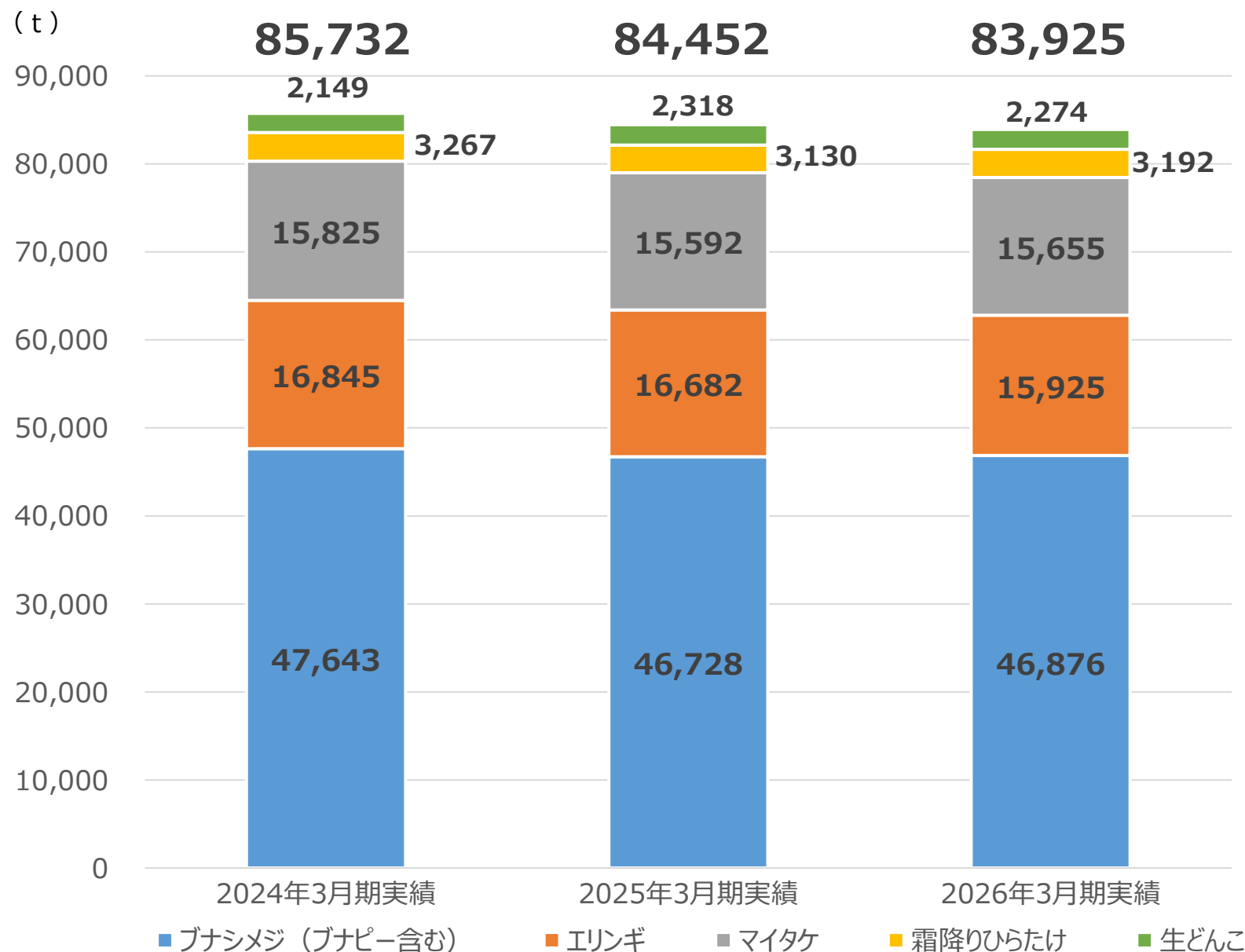


化成品事業

✓ 農業資材分野での大口設備案件の取り込みや、きのこ原料販売増により**増収増益**



きのこ生産量の推移(連結)



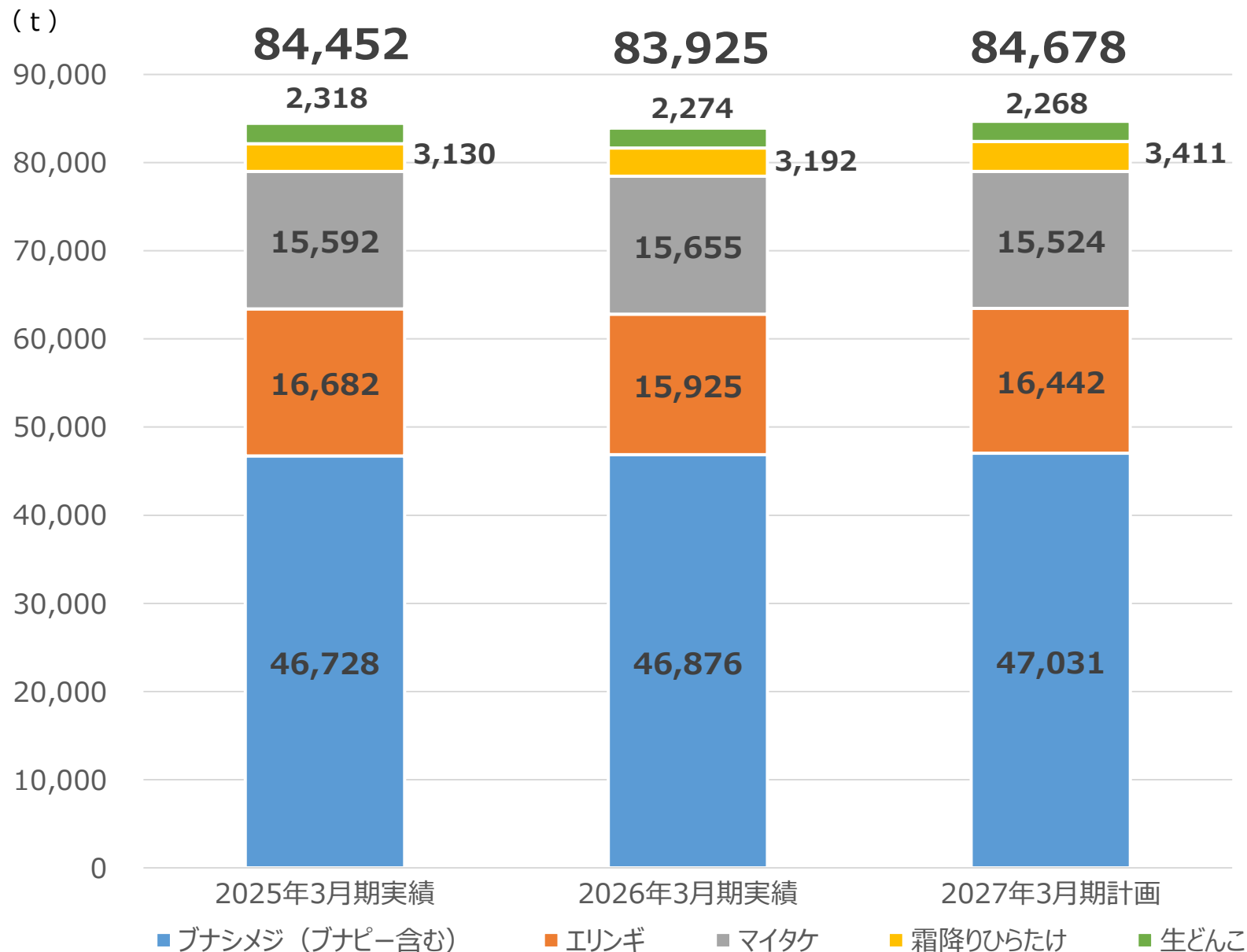
	当社前年対比	当社計画対比
ブナシメジ (ブナヒ°-含む)	102.2%	104.3%
エリンギ	103.1%	105.4%
マイタケ	101.1%	106.4%
霜降りひらたけ	107.5%	107.0%

		2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	前期比増減額	前期比増減率
アメリカ	売上高	2,764万\$	2,774万\$	9万\$	0.4%
	営業利益	256万\$	209万\$	△46万\$	△18.2%
	為替	149.52	159.88		
台湾	売上高	661百万NT\$	645百万NT\$	△16百万NT\$	△2.5%
	営業利益	160百万NT\$	155百万NT\$	△5百万NT\$	△3.2%
	為替	4.51	4.99		
マレーシア	売上高	1,710万RM	1,364万RM	△346万RM	△20.2%
	営業利益	△318万RM	△406万RM	△88万RM	—
	為替	33.69	39.58		

(百万円)

	2026年3月期 実績	2027年3月期 計画	実績比増減額	実績比増減率
売上高	85,915	88,100	2,184	2.5%
売上総利益	24,919	26,320	1,400	5.6%
売上総利益率	29.0%	29.9%		
販管費	17,888	19,060	1,171	6.5%
営業利益	7,031	7,260	228	3.3%
営業利益率	8.2%	8.2%		
経常利益	8,186	7,650	△536	△6.6%
経常利益率	9.5%	8.7%		
当期純利益	7,006	5,250	△1,756	△25.1%
当期純利益率	8.2%	6.0%		
一株当たり利益	223.84円	167.22円		

きのこ生産量の推移(連結)



(百万円)

		2026年3月期 実績	2027年3月期 計画	実績比増減額	実績比増減率
国内きのご事業	売上高	56,077	57,130	1,052	1.9%
	営業利益	7,242	7,300	57	0.8%
海外きのご事業	売上高	8,236	8,830	593	7.2%
	営業利益	1,147	1,420	272	23.8%
加工品事業	売上高	8,003	8,430	426	5.3%
	営業利益	511	430	△81	△16.0%
化成品事業	売上高	13,598	13,710	111	0.8%
	営業利益	470	530	59	12.7%

		2026年3月期 実績	2027年3月期 計画	実績比増減額	実績比増減率
アメリカ	売上高	2,774万\$	3,089万\$	315万\$	11.4%
	営業利益	209万\$	353万\$	144万\$	68.8%
	為替	159.88	156.60		
台湾	売上高	645百万NT\$	652百万NT\$	6百万NT\$	1.1%
	営業利益	155百万NT\$	156百万NT\$	1百万NT\$	1.0%
	為替	4.99	4.90		
マレーシア	売上高	1,364万RM	1,846万RM	481万RM	35.3%
	営業利益	△406万RM	△217万RM	189万RM	—
	為替	39.58	39.70		

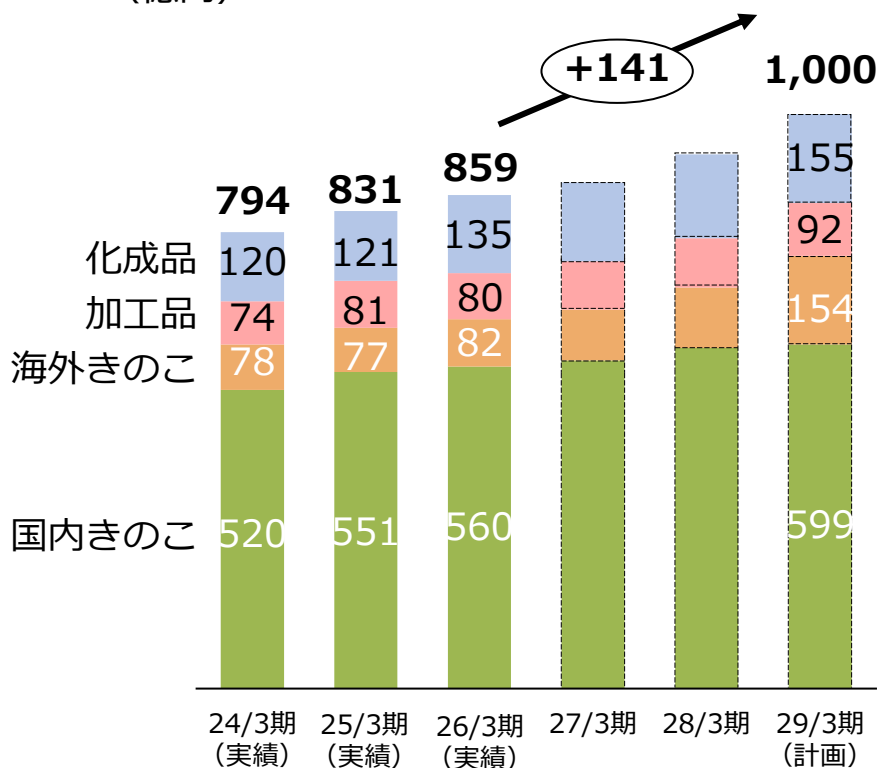


3. 中期経営計画

中期経営計画の目標に対し、売上高で85.9%、営業利益で70%の進捗と順調に推移

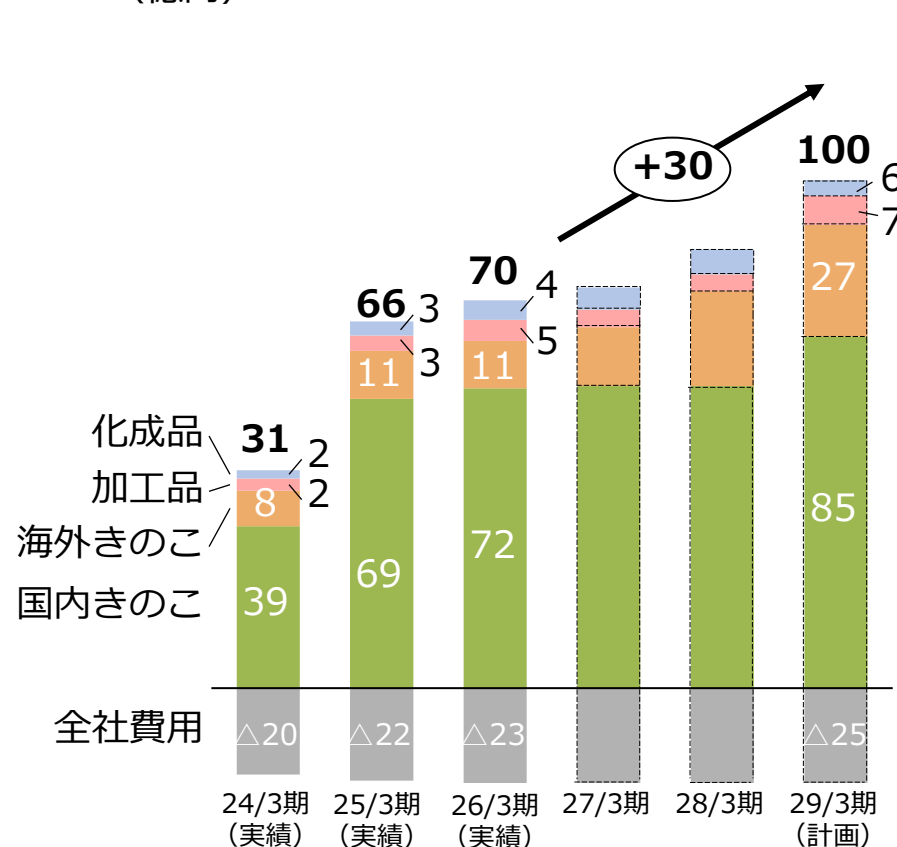
売上高（連結）

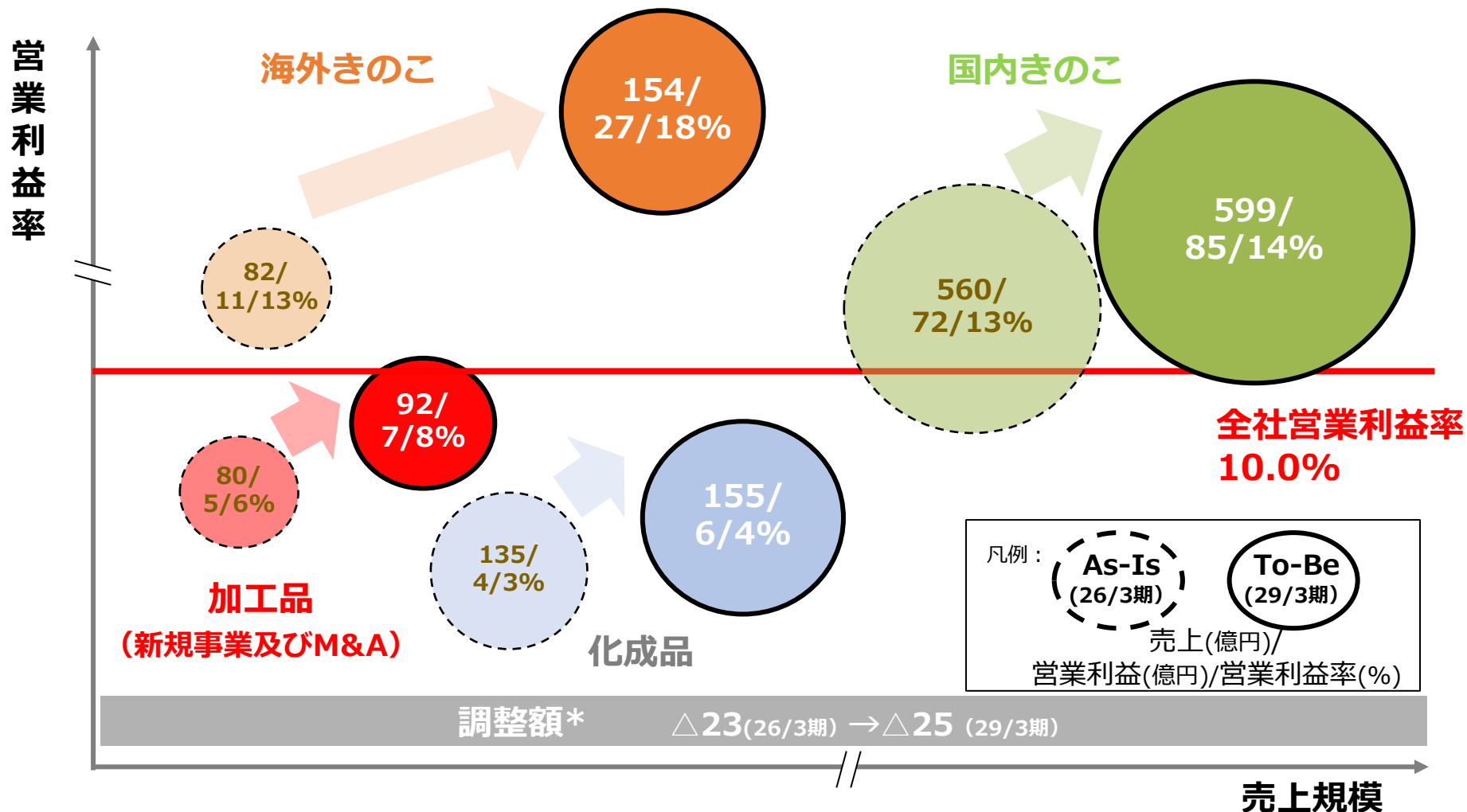
（億円）



営業利益（連結）

（億円）





国内きのこ事業

売上高
営業利益

25/3期実績

551億円

69億円

26/3期実績

560億円

72億円

29/3期目標

599億円

85億円

重点施策

生産量最適化と
価格安定化



エリア×アイテム
戦略推進



原価低減

Pick Up

2026年3月期実施の主なマーケティング施策

●霜降りひらたけの拡販推進

「リュウジのバズレシピ」とのコラボ、店頭キャンペーン、メディアでのPRを通じた認知向上、拡販に成功



売上10%アップ、
過去最高売上を更新

●マスメディアPR:商品と「ホクト品質」の認知向上

ほんまでっか!?TV (2025/9/17放送)
土曜はナニする!? (2026/2/28放送) など
広告換算価値計4億円(外部PR会社試算)

●エリンギのリニューアルキャンペーン



品種改良したエリンギの発売キャンペーンを実施
併せてきのこ組CMの制作、放映・配信

●公式SNSの立ち上げ

公式SNS(X、Instagram、Youtube)の立ち上げ
Xはフォロワー数4.5万人に到達

●工場直送採れたてきのこセットの発売

2025年9月に公式オンラインストアで発売し、好評価



海外きのこ事業

売上高
営業利益

25/3期実績

77億円

11億円

26/3期実績

82億円

11億円

29/3期目標

154億円

27億円

重点施策

アメリカ 生産・販売拡大



台湾・マレーシア 利益改善

Pick Up

アメリカ新工場の計画進捗

アメリカのカリフォルニア州での新工場建設に向け土地取得済。生産能力の増強による売上拡大を狙う

●工場稼働までのマイルストーン(見込み)

- ～26年3月 土地取得(完了)
- 26年中頃～末 カウンティ向け各種申請、審査完了
- 26年11月頃 設計完了(許認可申請と同時並行で実施)
- 27年中頃～末 カリフォルニア州向け各種申請、審査完了
- 29年3月期中 生産開始

※行政審査の進捗により前後する可能性あり

●想定生産量と販売計画



下記戦略を梃子に販売数量の増加を狙う

- 新規スーパーマーケット開拓
- 営業人員増強
- 販売パッケージ、品種ミックス最適化
- マーケティング強化



加工品事業

売上高
営業利益

25/3期実績

81億円

3億円

26/3期実績

80億円

5億円

29/3期目標

92億円

7億円

重点施策

業務用・市販向け調理加工品
新規冷蔵・冷凍品の販売促進

+

魅力ある
新商品開発

+

新しい
通信販売事業

Pick Up

成長領域における新商品開発の展開

市販向けの急速冷凍きのこ「とれたて一番」は順調に取り扱い店舗を増やしており、今後も市販向け冷凍きのこ市場の開拓と事業拡大に取り組む

- 2025年10月に市販向け冷凍きのこ「とれたて一番」を発売
- 国内工場で採れたてのカットエリンギ・カットブナシメジを急速冷凍
- 首都圏のスーパーを中心に先行販売し、2026年度より販売店舗数**2倍以上**に拡大中
- 全国のスーパー、ドラッグストア、コンビニエンスストアでの販売を通じて市販向け冷凍きのこ市場の開拓と事業拡大を目指す



化成品事業

	25/3期実績	26/3期実績	29/3期目標
売上高	121億円	136億円	155億円
営業利益	3億円	5億円	6億円

重点施策

取引先の拡大



利幅の改善

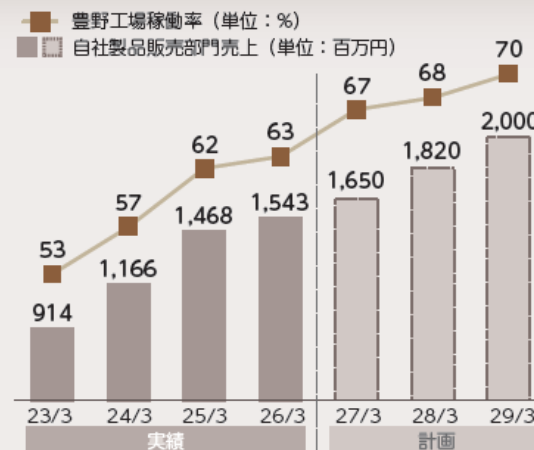
Pick Up

- 26年3月期
主力ダイレクトブロー(DB) **稼働率75%** **工場全体稼働率*163%**
さらに稼働率を高めるため、26年3月期に省人化投資*2を実施

中計最終29年3月期DB **稼働率85%へ** **工場全体稼働率70%へ**

- 稼働率の上昇に伴い、自社製品売上も増加
中計最終29年3月期の自社製品販売部門*3売上は、中計開始前24年3月期比**7割以上の増加**を見込む

● 豊野工場稼働率と自社製品販売部門売上



*1: 工場全体稼働率は年末年始とお盆の休業期間を除く稼働日について、全設備が24時間稼働した場合に対し、実際に設備がどれだけ稼働したかを表します。

*2: 稼働に必要な人員確保が困難になる状況下、検品カメラの増設、製造ラインの見直しで現有人員で主力ダイレクトブローの稼働率を高めます。

*3: 豊野工場で製造された自社製品は、弊社容器営業課、農業資材課、松本支店工業資材課等で販売します。容器営業課の取り扱いが多いため、ここでは容器営業課のデータを用いました。同課は豊野工場で製造する製品のほか、委託工場で生産した製品、仕入品の販売を行っています。グラフ中の売上にはこれらを含みます。





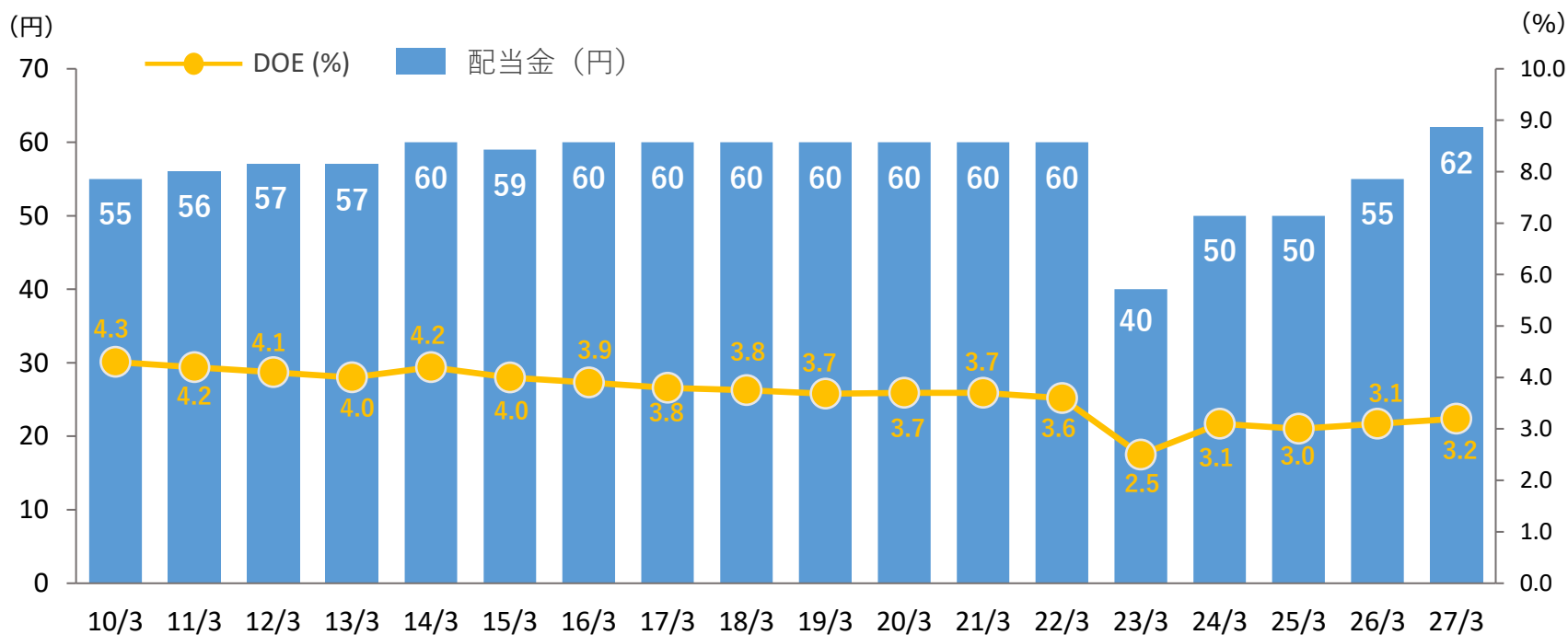
4. 株主還元

(2026年6月19日現在)

株価	1,886円
時価総額	629億円
配当利回り	3.29%
一株配当 (2027年3月期予想)	62.00円

株主還元方針

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営目標と位置付けており、今後の事業展開に備えるために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続に努めることを基本方針としております。今後の利益配分につきましては、株主還元を一層拡充するため、連結株主資本を基準とした**DOE（株主資本配当率）を2029/3期に3.5%**とすることを目標とした配当政策を実施することといたしました。これにより、単年度の業績変動に左右されない安定的・持続的な配当の達成を目指します。また、内部留保につきましては、企業価値の持続的な向上を図るべく、将来の成長に不可欠な戦略投資に優先的に投下してまいります。



株主優待の拡充(2026年3月期～)

対象

毎年3月末時点で、100株以上保有している株主様
下記3つのセットから1つをご選択いただけます。

発送
時期

10月下旬～11月上旬

A 健康セット



アグリクスドリンク等
詰め合わせ
(4,000円相当)

B レトルトセット



レトルトカレー、きのこの炊き込み
ご飯等詰め合わせ
(1,800円相当)

C きのこ・レトルトセット



きのこ2種、レトルトカレー等
詰め合わせ
(1,400円相当)

新設

500株以上を1年以上継続して¹保有している株主様

発送
時期

6月下旬



上記優待に加えて、Visaギフトカード 3,000円分を進呈いたします。

国内外のVisa加盟店（約1.3億店舗）で利用できる

お店でもネットショッピングでも使える

有効期限は発行してから2年間

注1：例えば、2027/3/31基準の場合、2026/3/31、2026/9/30、2027/3/31の3つの時点の株主名簿に同一株主番号で500株以上の保有が記録されている株主様が対象となります。



ホクト公式オンラインショップ

ホクトのきのこを使用した健康食品やレトルト食品など
様々な商品を取り扱っております。

本日の説明会のお土産に入っている
レトルト食品もご購入いただけます！



ご購入はこちらから！

Web
(24時間受付)

ホクト オンラインショップ



スマートフォンは
こちらから



TEL



0120-58-4910

(TEL受付/平日 9:00~17:00)

IRに関するお問い合わせ

財務本部 広報・IR室

TEL: 026-259-5955

ir-k@hokto-kinoko.co.jp

ホクト株式会社

